

## 第12回 かさまつ文芸祭

笠松町文化協会主催による第12回笠松町文芸祭が、10月18日中央公民館で開催されました。

俳句・川柳・短歌・詩の部門で、小学生・中学生・一般から942点の投稿があり、文芸祭賞の作品は次のとおりです。

俳句 —— (敬称略)

夏の旅行作ったコップ海のように 笠松小6年 横井美沙都  
夜の道空に尾をひく螢の火 笠松中3年 川井 滂  
白芙蓉風の中なる白さかな 一般 吉田玉枝

川柳 ——

温暖化未来の地球どうなるの 下羽栗小5年 蒲りお  
Vサインしたまま蟹が湯であがり 一般 原 美也子

短歌 ——

赤い葉が まいおいてくる ヒラヒラと  
ゆかたでおどって 楽しそう  
松枝小6年 福井綾奈  
ここにいた わたしはいつも ここにいた  
まわりの人が 見なかっただけ  
笠松中2年 菅原帆南

母の背を 流す手つきに 慕洗う  
冷たい水の すぐにぬるま湯  
一般 荻谷啓子



山田会長から賞状を受ける中学生たち

詩 ——

ツバメ

ツバメが空を飛んでいる 巣の近くで  
みんながツバメを見ている 教室のまどで  
あ、今、ツバメの ひながかえった

下羽栗小4年 杉山夏帆

自由

自由ってなんだろう？ 鳥が空をとべること？  
魚が海をおよげること？ 人間が地面をはしれること？  
あ！ 今 私が考えていられることが 自由なんだ  
笠松中1年 大島千明

## 文芸 化術 の秋

## 力作がずらい

### 笠松町美術展

第38回笠松町美術展が11月1日から3日まで、中央公民館・町民体育館で開催されました。

初日には、オープニングセレモニーが行われ、待ちかねた皆さんが会場に詰めかけました。

日本画、水墨画、洋画、版画、彫塑・工芸、書、写真、デザインの部門343人からの440点の作品が展示されました。3日間で町内外から1,100人程の参観者が来場し、力作に感心しながら見入っていました。

また、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展が同時に開催され、その収益金は町社会福祉協議会へ寄附されました。



水墨画を鑑賞する観覧者たち

## 作品の展示・ステージ発表を披露

生涯学習発表会が中央公民館で、11月16日に行われ、5月から学習した成果が発表されました。

会場には、写真、習字、生け花、木版画、木目込み人形など多数の作品が展示されました。

また、抹茶や煎茶のお点前披露は茶華道室、大ホールでは、体操、コーラス、太極拳、踊りなど11講座のステージ発表もあり、訪れた皆さんを楽しませました。



花アート展示場で押し花づくりを体験する観覧者たち